

# めぐみイエス・キリスト教会

2018年2月4日(日)第一聖日礼拝  
週報「通算第392号」



## 2018年標題聖句

### 使徒の働き27章22節～26節

27:22 「しかし、今、お勧めします。元気を出しなさい。あなたがたのうち、いのちを失う者はひとりもありません。失われるのは船だけです。

27:23 昨夜、私の主で、私の仕えている神の御使いが、私の前に立って、

27:24 こう言いました。『恐れてはいけません。パウロ。あなたは必ずカイザルの前に立ちます。そして、神はあなたと同船している人々をみな、あなたにお与えになったのです。』

27:25 ですから、皆さん。元気を出しなさい。すべて私に告げられたとおりになると、私は神によって信じています。

27:26 私たちは必ず、どこかの島に打ち上げられます。」

主日礼拝毎週日曜日 午前10時～11時

聖書研究・祈祷会 毎週水曜日 午後6時15分～7時15分

牧師 鈴木 竜 実  
ますみ

※当教会は、モルモン教、エホバの証人(ものみの塔)、統一教会(原理福音)とは、一切関わりがありません。

◇◆◇2018年2月4日(第一聖日礼拝)

午前10時～11時

司会 鈴木 ますみ さん 奏楽 佐野 みゆきさん

## ◎礼拝プログラム

【前奏・祈祷】

【賛美Ⅰ】 新聖歌176「イエスは汝を呼び給う」p. 254

【交読文】 No.43 詩篇第136篇 p. 913

【賛美Ⅱ】 新聖歌265「世人の咎のために」 p. 416

【使徒信条】

【主の祈り】

【先週のメッセージの概要】

【賛美Ⅲ】 オリジナルNo.14「み言葉に立ち帰ろう」

【聖書朗読】 ヨハネの福音書13章21節～30節(新約p. 190)

【祈 禱】

【メッセージ】 《主よ。それは誰ですか?》 鈴木竜実牧師

【聖 餐 式】

【賛美Ⅳ】 新聖歌166「威光・尊厳・栄誉」 p. 236

【平和の祈り】

【頌 栄】 新聖歌63「父・御子・御霊の」 p. 85

【祝禱・後奏】

●ポイント1「私のパンを食べている者が、かかとをあげた」とは?

※ヨハネの福音書13章18節～19節「預言の成就」 (新約p.189)

13:18 「私は、あなたがた全部の者について言っているのではありません。私は、私が選んだ者を知っています。しかし聖書に『私のパンを食べている者が、私に向かってかかとを上げた。』と書いてあることは成就するのです。

13:19 私は、そのことが起こる前に、今あなたがたに話しておきます。そのことが起こったときに、私がその人であることをあなたがたが信じるためです。」

※詩篇41篇9節「指揮者の為に、ダビデの賛歌から」 (旧約p.868)

41:9 私が信頼し、私のパンを食べた親しい友までが、私にそむいて、かかとを上げた。

●ポイント2「私があなたがた十二人を選んだのではありませんか」とは？

※ヨハネの福音書6章66節～71節「その一人は悪魔である」(新約p.171)

●ポイント3「主よ。それは誰ですか？」そして、その答えは？

※マタイの福音書26章21節～25節「鉢に手を浸した者が」 (新約p.50)

26:20 さて、夕方になってイエスは十二弟子と一緒に食卓に着かれた。

26:21 みなが食事をしているとき、イエスは言われた。「まことに、あなたがたに告げます。あなたがたのうちひとりが、私を裏切ります。」

26:22 すると、弟子たちは非常に悲しんで、「主よ。まさか私のことではないでしょう。」とかわるがわるイエスに言った。

26:23 イエスは答えて言われた。「私と一緒に鉢に手を浸した者が、私を裏切るのです。」

26:24 確かに、人の子は、自分について書いてあるとおりに、去って行きます。しかし、人の子を裏切るような人間はのろわれます。そういう人は生まれなかったほうがよかったです。」

26:25 すると、イエスを裏切ろうとしていたユダが答えて言った。「先生。まさか私のことではないでしょう。」イエスは彼に、「いや、そうだ。」と言われた。

※ヨハネの福音書15章13節～14節「人がその友の為に」 (新約p.194)

「人がその友のためにいのちを捨てるという、これよりも大きな愛はだれも持っていません。私があなたがたに命じることをあなたがたが行なうなら、あなたがたは私の友です。」

## ◎先週のメッセージの概要【遣わされた者と遣わした者】

《イエス様は、「私は、私が選んだ者を知っています。」と言われました。

公生涯の初めの頃のことです。イエス様は、山に登り、徹夜祈禱をされました。そして夜明けになって、弟子たちの中から、十二人を選び、彼らに使徒という名をつけたのです。

ペテロという名のシモンとその兄弟アンデレ、ヤコブとヨハネ、ピリポとバルトロマイ(ナタナエル)、マタイ(レビ)とトマス、アルパヨの子ヤコブと熱心党员シモン、ヤコブの子ユダ(タダイ)と、イスカリオテ・ユダの十二人です。

イエス様は、ユダが出て行った後、残りの使徒たちに、このように言われました。「あなたがたが私を選んだのではありません。私があなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。」

この言葉は、今なお、私たちひとりひとりに向けられて、語られています。

イエス様が引用された、『私のパンを食べている者が、私に向かってかかとを上げた。』とは、詩篇41篇に書かれた預言です。この預言は、イスカリオテのユダが、ゲッセマネの園に、ユダヤの長老と民たちとローマ兵を引き連れてやって来る時に成就します。この時点から、もう数時間後のことになります。その時、イエス様は、イスカリオテのユダに、「友よ」と、声をかけられます。

そして「私の遣わす者を受け入れる者は、私を受け入れるのです。私を受け入れる者は、私を遣わした方を受け入れるのです。」と言われました。

イエス様は、父なる神様によってこの世に遣わされました。「彼らは、あなたが私を遣わされたことを信じました。」と言われたように、イエス様が捕らえられる直前に、弟子たちは、イエス様が父なる神様から遣わされたことを知ったのです。そして今度は、イエス様が彼らを、この世に遣わされるのです。

私たちは遣わされた者なのです。誰によって。イエス様によって。イエス様は、ご自身を信じるすべての者を、まだ十字架の福音を知らない多くの人々に、遣わされるのです。私たちは、世の光として遣わされて行く者です。》

## ◎お知らせ

1. 次回の礼拝は、2月18日(日)午後6時から行ないます。2月11日(日)の礼拝は、都合によりお休みします。また次回聖書研究会・祈禱会は、2月7日(水)および、2月14日(水)午後6時15分から、行ないます。

3. 鈴木師は、2月6日(火)下妻朝禱会にて、奏楽と特別賛美を担当します。

